

令和6年度

グループホーム 東狐 金さん銀さん

自己評価・外部評価・運営推進会議評価表

特定非営利活動法人 生活支援センター アットホーム新川

令和6年7月10日 <グループホーム東狐金さん銀さん>
自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎年施設方針をたて、入居者の生き生きとした暮らしを支援できるようにしている ・年度末に振り返り、職員で改善点などを話し合い次年度につなげている			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・地区の定例会に参加をし、地区の活動などの情報を得ている ・入居者様と近所を散歩し、あいさつ等の日常会話で認知症の人への理解と支援をいただけるようにしている	・地区の定例会には年度途中から参加していないが行事などで必要な時は参加 ・レクリエーションの案内を地域へしてみては		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議での意見を施設運営に反映させている ・運営推進会議の議事録や外部評価結果を、関係機関や家族等へ送り、事業所内にも掲示している	・議事録を作成し家族等に送付している(配布) ・議事録は会議参加者へも配布しては(配布予定) ・議事録を玄関に掲示しては(掲示済み)		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議に出席をいただいている ・町役場からの問合せに情報提供をしている	・毎月作成している「金さん銀さんだより」を配布する ・情報交換は随時行っている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・玄関の施錠は夜間のみおこなっている ・気持ちが外に向く方や家に帰りたい思いの方には「いってらっしゃい」と声をかけて見送り、職員が後ろから見守りや付き添いを行っている ・身体拘束を含む高齢者虐待について、月2回の職員会議で常に話し合っている ・身体的拘束等の適正化のための指針と改善計画を定めている ・虐待防止と身体拘束については、全職員研修を毎年実施している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・一般的な感覚では限界と思われる基準が順守されている。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・虐待防止と身体拘束については、全職員研修を毎年実施している ・虐待の芽である『不適切ケア』について職員会議で話し合い、自分たちのケアを見直す機会を作っている ・高齢者虐待防止のための指針を定めている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・推進会議において、職員の皆さんの思いが伝わってきます。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族からケアマネに相談があった際には対応できるようにしている ・職員が権利擁護に関する外部研修に参加し、研修後内部で研修報告を実施している ・必要に応じ本部から支援を行う(法人に顧問弁護士がいる)			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・新規入居者様の面談から契約まで家族と連絡を取っている ・契約時には、必要資料を準備し、契約担当職員が時間をかけて説明している ・報酬改定の説明や料金改定の理由など丁寧に伝えている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・面会時、家族との会話の中でケアマネや管理者が「何か要望等ありますか?」「〇〇についてどう思いますか?」と聞いている ・面談での周知必要事項は、職員会議で全職員に伝えられている ・施設玄関に意見箱を設置		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・体調に変化があった時の対応も、'判断'が働いており、家族への報告もしっかりなされている。 ・入所者と家族とつなげる活動があればいいと思います。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員会議の意見をマネージャー会議や各種委員会を通し法人本部に提案、運営に役立てている			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員負担の軽減を目指し、介護記録のデジタル化や介護ロボット導入などを行っている ・永年勤続表彰やキャリアパス制度も導入し、昇級の明確化を実施している ・就業規則などの見直しを行っている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・実態の説明により確認できる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・全職員を対象とした研修を年2回、管理者研修を年4回、その他ケアマネや看護師及び調理員の法人独自研修を実施 ・外部研修を推進し、意欲・介護知識向上を図っている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・外部研修等の説明で実態の把握が出来る。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・町主催の地域ケア会議に出席 ・他法人の同業者とは交流していない ・法人内の他事業所と行事を通じて入居者と職員の交流を実施 ・各種委員会などで各事業所間の意見交流を実施 ・法人内の他事業所と合同運動会を行ない利用者と職員の交流を実施			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・施設方針のもとに職員も共同生活者として、入居者に寄り添い、活動(調理手伝い・掃除・洗濯物・畑等)を行っている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今年度から地元ボランティアを施設に呼び、馴染みの関係を再開(コロナ禍緩和による) ・地域イベントへの参加で昔の知人との出会いがある ・馴染みのお店(理容店等)を継続利用している ・入居者の近所の友達が訪ねてくる	・コロナ禍で以前のようにまでは出来ていない ・居室での面会が出来るようにしている		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・介護記録のデジタル化により、日常会話の中で収集した情報は職員間で共有化している ・会話が困難な方は、会話が出来た時代を思い出して把握をしたり、家族に聞いたりしている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人や家族に介護に対する意向を聞き、その方の生活歴にあった介護計画の原案を作成し、職員会議で検討して計画作成をする ・介護計画を家族に説明し、同意を得て、計画書をお渡ししている	・月2回職員会議を行い、利用者の状況について話し合いを行う	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・資料による説明で、実態がみてとれる。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個人の介護計画書に添って、ケアを実践している ・ケアの中で気づきは全て記録に残し、月2回の職員会議で支援の検討をおこなっている ・ケア記録のデジタル化で情報共有している ・本人が出来る事(役割等)を記入する項目がある		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・必要が生じたその時に、タイムリーに情報共有がなされている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者の思いに添い、活動を提案している(外出やレクリエーション等) ・ビデオ通話で遠方にいる家族と顔を合わせ話ることが出来る ・ICTを積極的に利用している(眠りスキャンなど)	・施設に整備してある機器を多方面に活用している (Wi-Fi や LINE、クラウドサーバーでのケア記録など) ・利用者の睡眠状態などを計測する「眠りスキャン」を活用している		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議で区長・民生委員・社会福祉協議会会長・福寿会及び地区の定例会等地域の方からの情報を大切に、活かしている ・R5年度～各方面のボランティアさんとの交流を再開している ・地域の協力医の往診等を活用し本人の負担軽減に努めている	・運営推進会議に地域の各種団体の方々に参加いただく ・地域のボランティアさんとの交流を再開した ・地域の協力医に協力を頂いている		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・かかりつけ医は本人・家族の希望に応じている ・協力医以外のかかりつけ医には、家族に主治医宛の状態説明を渡している ・必要に応じ、職員も同伴し状態を伝える			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めているあるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入院先の地域医療連携室に情報提供している退院時には情報提供を依頼している ・入院中にケアマネが地域医療連携室を訪問し情報交換など関係性を深めている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・実例を示す資料等により、実態が確認できる
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・症状の変化により、家族にはその都度連絡している ・入居時に看取り介護の説明をしている ・終末期や特別養護老人ホームの意向を伺っている ・協力医と医療連携についてその都度話し合っている ・「看取り介護」について家族や職員、主治医と話し合っている ・運営推進会議や地域ケア会議で「看取り介護」の取り組みについて伝えている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・実例は、あるのかどうかは分からないが、その時々への対応についての体制は確認できる。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・外部研修のターミナル研修を職員が受講し、研修報告を職員会議等で行っている ・入居者の各種医療的症状に合わせた対応の仕方を身につけている ・緊急時の対応や連絡手順について、定期的話し合い、確認している ・症状に合わせたマニュアルがある			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・年2回の法定火災訓練とシェイクアウト訓練を実施 ・重介護者の避難に関して対応の見直しを行っている ・「災害時地域協力者名簿」を作成している ・運営推進会議で災害対策について説明している ・災害時のBCP計画を作成している	・施設側：災害時は入居者様の状態を考慮し、『水平避難』はしない ・防災計画をもとに今後はいろいろな訓練を検討する ・地域のハザードマップの確認 ・火災時の重介護者の搬送方法に毛布を使用したスライド方法を訓練	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・施設としての体制は、ほぼ出来ている。今後地域等との連携の整備ができる。 ・訓練時、地区・町を巻き込んだ活動があればもっと良くなると思う。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員会議で「声がけ」について話し合い、対応の掲示がある ・入居者の性別や個性を考慮して、声掛けをしている ・入居者様は全室個室となっている ・職員研修で接遇研修を実施している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・実態の説明により確認できる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食後やレクリエーション後の過ごし方は本人の意思を尊重している ・利用者様の生活に対する希望に沿い日々暮らしを支えている ・外に行きたい気持ちがある方には、できる限り付き添い散歩に行っている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・調理さんが目の前で食事を作り、常に五感の楽しみがある ・職員や調理さんが入居者の好みを聞き、メニューに取り入れている ・各自の能力に合わせて調理手伝いをお願いしている ・本人の嚙む力に合わせて、副食の形態を変えている ・誕生日などは、入居者の希望メニューを提供している ・入居者の希望を聞き、テイクアウトも提供している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・実例を示す資料等により確認できる。 ・入所者の希望を取り入れ食事が楽しみになる工夫がみられる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・各自の状態、体調の応じた食事量や形態で提供している(食事や水分の摂取量はケア記録で管理) ・水分確保が困難な方には好みのものを提供している(好みのものによっては、医師や薬剤師と連携して対応)			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎食後に歯磨きや義歯洗浄の声掛けしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・説明により実態がみとれる。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ケア記録に基づき各自のタイミングをみて誘導している ・個人の排泄サイン(体動)を職員間で共有している ・布パンツで対応できる方は使用を継続支援している ・便秘予防や排便調整はオリゴ糖を試行し、医師や薬剤師と相談をしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・実態確認できる項目ではないが、説明によればBと判断できる。 ・ひとりひとりに合わせ、介助しておられる事がよく分かります。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・曜日や時間帯は決まっているが、希望に応じて対応している ・季節風呂の提供(ゆず湯や入浴剤の工夫)			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・各自の寝具を持ってきて頂き、 慣れ親しんだ寝具で休んで頂く ・昼寝や夜間、本人の状況により ベッドに限らずソファで休んで頂 く事も出来る ・安心して入眠できるように季節 に応じて、空調や寝具内の保温を している ・睡眠状態把握の為『眠りSCAN』 (介護機器)を導入している			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ケア記録に薬剤情報を入力し、 副作用をすぐ確認出来るように している ・内服変更の際は、医療報告書や 事務所のカレンダーに「〇日から 変更」と記載し、職員が確認し ている ・主治医、薬剤師と連携し、定 期的に内服の見直しをしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・実態確認できる項目ではない が、説明によればBと判断 できる。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活歴や趣味、今できる事を 把握し、日々状況にあわせて 提供し、役割のある生活を支 援している ・散歩やドライブに行っている ・『楽しみごと』に対してボラン ティアの訪問を再開	コロナ禍で外出が制限される 中、金さん銀さん内でおやつや 昼食などの調理を行う機会が 増えている状況を紹介		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている また、普段は行けないような 場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力 しながら出かけられるように 支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今年度から徐々に外出を再 開季節にあつた行き先や各自 の希望に応じて、近所への散 歩、ドライブに行く ・家族との外出支援も再開	コロナの5類移行で、家族と の外出など支援していきたい		
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つこ との大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・個人のお金は施設で管理し ている ・外出先で入居者にレジの手 続きをお願いし、買い物する こともある ・認知症の進行により、金銭 管理が難しい方が多い			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自ら が電話をしたり、手紙のやり 取りができるように支援して いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族からの電話は取り次ぎ、 本人と話をして頂く ・年末、自分の思っている方 に年賀状を出して頂く ・手紙は本人にお渡しする ・個人的に家族と携帯電話を 使用している方もいる			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各居室に自分の表札をかける ・トイレの表示を見やすくしている ・食卓テーブルの前で調理をしており、音や匂いが感じられ、生活感がある ・玄関・食卓には季節に応じた飾りつけや花を飾っている ・施設内に入居者の年齢に合った曲やラジオが流れており、曲に合わせてロケさむ光景がある 		<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	・ホールで過ごしておられる入居者の皆さんの言動、表情からも生活環境がよいことが伺える。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の思いや意向に添えるように情報収集し、ケアに活かしている (意向に添えない時は、意向に近づけるように職員会議で検討をしている) ・普段の会話からでた「やりたい事」を取り入れ、行事活動として実践 			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	同上			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の日々の状態をケア記録に残し、家族や医療機関に情報提供し、共有をしている ・本人の状態変化や急な対応には、職員で話し合い、『その時』に適した支援をしている 		<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	・体調変化に対して適時“判断”を入れその時々の実例に応じて家族への連絡報告がなされていることが確認できる。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居当初は本人のペースを見ながら、対応し、施設での生活にやや慣れた時期を見て、本人や家族の意向をもとに暮らしのペースを作っている 			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物の持ち込みは制限しているが、それ以外は自由としている(写真や作品などを自身の居室に掲示) ・認知症の進行により、『馴染みのもの』が不安要素になる場合もあり、本人の状態に合わせて対応している 		<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	・実態の説明により確認できる。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<p>Ⓐ. 充分にできている</p> <p>Ⓑ. ほぼできている</p> <p>Ⓒ. あまりできていない</p> <p>Ⓓ. ほとんどできていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の敷地内は、自由に外に出る事ができる ・1人で散歩に出かける時は職員が見守っている 	コロナの感染症分類が5類へ移行したことで、家族との居室面会や外出などを支援していく。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・生活歴や趣味、今できる事を『継続できるように』『1つの役割ができなくなっても、違う支援方法を探し、別の役割・楽しみを見つける』方針で、日々役割のある生活を支援している			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日々の会話の中で「ここにいたら楽しいわ」「今もう少しここにしようか?」「何かすることがあるといい」という会話が入居者からある ・入居者が一日ずっと座っていることがないように、本人の役割提供をしている ・入居者自ら、他の方とレクリエーション活動を行っている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ホールでの様子から確認できる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・敷地内を散歩中、施設の前を通る方に職員とともに声をかけたり、下校する小学生に手を振ったり、「気を付けて帰られ～」と声をかけたりしている ・R5年度～各方面のボランティアさんとの交流を再開している	・小学生への声がけは施設の窓や外に散歩に行ったりしたときにおこなっている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・『私の気持ちシート』作成して支援している ・面会時に家族から意見を聞き、施設での支援計画に反映している ・入居者の会話から『安心した生活』を送る事が出来ていることを職員が感じることもある	(気持ちシートを提示して説明をする) ・シートの更新は本人様の状態が変わった時や介護認定更新の時におこなう。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・他者が思っていた以上に取り組みや配慮がなされていることが確認できる。 ・室内の掲示物を見て、職員の温かい思いが伝わってきます。